



新しい時代の問題、マーケティングを使って解決します！

オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター

Ver.4 第87号

「【新版】この一冊ですべてわかる金融の基本」を読みました！



皆さん、お元気でしょうか。朝晩は少しだけ涼しく感じますが、昼間はまだまだ暑いですね(笑)。コロナも考慮しながら体調管理にはご注意ください。さて、今回ご紹介するのは「**【新版】この一冊ですべてわかる金融の基本** (日本実業出版社、¥1,870、田渕直也著)」です。

金融関連の本を買うこと自体が、かなり久々です(笑)。大昔、診断士1次の勉強で「経済的知識」という科目があり、その関係で金融の勉強をしていました。銀行に勤めている受講仲間から「経済指標のかんどころ」という本を紹介され、それを基本書にして金融の知識を習得しました。この本、ひとつのテーマを見開き2ページで解説。しかも発行が富山県統計課。なかなかユニークでした(笑)。

さて、本書は**金融について門外漢である僕が読んでも分かりやすいです**。例えば、為替、金利、債券、投資などについて、どのように動いたら、どんな影響が出るのか。その原理原則が瞬時にわからない方に、本書をお薦めします。大学の経済学部で勉強した経験のある方は、特に読む必要はないと思いますね(笑)。

章立ては、コーポレートファイナンスの基本、株式市場、債券市場、金利を理解しよう、外国為替市場、投資の基本、新しい金融の流れ、です。どの章にも知らないことがあって勉強になりましたが、特に興味を惹いたのが「**金利を理解しよう**」と「**新しい金融の流れ**」です。

昔から僕の中では「金融とは金利である」という考えが定着しておりました。「金利を理解しよう」の中では、マイナス金利、短期金融市場、日銀の金融政策について、分かっていなかったことを明確に理解することができました。特に日銀の金融政策ですが、間接的手法が多く、効果も限定的であることがわかりました。まあ～効果があれば、異常な状態であるマイナス金利政策を続けることはありませんからね(苦笑)。

「新しい金融の流れ」では、デリバティブ、証券化、仮想通貨、フィンテックとAIが解説されていて、とても面白かったです。アメリカのサブプライムローンを組み込んだ金融商品をデリバティブと証券化によって作り出し、世界中に売りまくって、やがてローン破綻者が激増したことで、リーマンショックが生まれたわけですね。ちなみに資産価値があれば、どんなものでもデリバティブと証券化で金融商品が作れるみたいです(苦笑)。

そして、次の記述が本書の全体をあらわしていると思いました。「**大切なのは原則を理解することです。リスクなしで他と比べて有利なだけの投資対象は基本的には市場に存在しません。一見有利なものには常にリスクがつきまとうのです。そして、そのリスクをヘッジしてしまえば、その投資対象の見かけの有利さは消えます。これが、外貨投資に限らず、金融の世界における普遍的な基本原則なのです。(P167)**」つまり、**ウマイ話しには裏がある**、ということですね(笑)！

オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター編集部

発行人 奥村政治

〒571-0047 大阪府門真市栄町6番9号 門真プラザ610号

発行日 2022年9月1日

TEL06-6991-9627

Email: info@1project-support.com

https://1project-support.com

Copyright 2022 オクムラ経営コンサルティングオフィス all rights reserved